

JICA保健医療分野支援の新型コロナ対策への貢献

- JICAは2020年2月以降、検査試薬やECMO等の医療機材、院内感染対策を含む総額1.7億円の即効性のある支援を実施。
- これまでのJICAの保健医療支援は、「感染症対策支援」と「中核病院(バックマイ、チョーライ)を軸とした保健システムの強化」が重要な柱
- 特に、2003年SARS流行時におけるバックマイ病院の経験や15年にわたる感染症研究及び検査体制強化支援が今次ベトナムの新型コロナ対策の成功に寄与。

保健システムの強化 拠点病院から地方の能力強化へ

病院建設・機材整備と人材育成

対象	施設整備	人材育成(地方病院含む)
チョーライ病院	1975, 1995	1975-78 1992-95 1995-1999 2003-2009, 2010-2015, 2016-
バックマイ病院	2000	2000-2005, 2006-2009, 2010-2015
フエ中央病院	2006	2005-2010, 2010-2015
ホアビン省	2007	2004-2009
北西部6省		2013-2017
新卒看護師の人材育成		2016-2020
地方病院医療開発事業(借款):医療機材		
フェーズI	3省	2005-2011
フェーズII	10省	2012-2020



チョーライ病院



バックマイ病院



フエ中央病院



国立衛生疫学研究所(NIHE)



ホーチミン・パスツール研究所



BSL-3実験室

新型コロナウイルス対策支援 (総額1.7億円)

	資機材	供与先
診断・治療	ECMO、人工呼吸器等	チョーライ病院
検査	検査試薬	NIHE、PIHCMC、チョーライ病院
	リアルタイムPCR機器等	省CDC
	全自動リアルタイムPCR機器等	NHTD
個人防護具	N95マスク、ガウン等	保健省、NHTD

チョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト(2016-)

- 1995年以降、継続的に設備・資機材及び人材育成の両面で支援を実施。
- 現在実施中の技術協力では、院内感染対策は主要活動の1つ。感染管理者の育成(41名)や、手指衛生の強化、個人防護具(PPE)着用訓練、人工呼吸器使用時の感染管理等を実施。
- **新型コロナ支援では、治療・検査機器とともに、「院内感染対策マニュアル」を共同作成し、チョーライ病院及び南部25省の下位病院へ配布、研修実施予定。**

ベトナムにおける治療成功維持のためのbench-to-bedside system 構築と新規HIV-1感染阻止プロジェクト(2019-2024)

- 国立熱帯病医院(NHTD)をカウンターパートに、HIV感染者に対して実施されている抗レトロウイルス療法(ART)のモニタリングシステムの確立等を目指す。
- **今次の新型コロナ感染流行では、NHTDは北部地域の診断・治療の拠点として対応。**

感染症の予防・対応能力向上のための実験室の機能及び連携強化プロジェクト (2017-2022)

- JICAは2006年より、国立衛生疫学研究所(NIHE)及びホーチミン・パスツール研究所(PIHCMC)に対し、高危険度病原体の安全な取り扱いを可能とするバイオセーフティレベル3(BSL-3)実験室の整備とその運用能力の強化を継続的に支援。
- 現在実施中のプロジェクトでは、NIHEやPIHCMCが管轄する省CDCから10省を強化対象とし、検査能力向上と検査機関のネットワーク強化を支援。
- **新型コロナ対応では、NIHE及びPIHCMCが、下位検査機関である省CDCに対する研修・技術支援を実施、全国の新型コロナ検査ネットワーク構築・拡大を実現。**

検査体制の強化 中核研究所の強化から検査ネットワークの構築・強化へ

中核研究所の機能強化実験室整備(BSL-3)と人材育成

対象	実験室整備	人材育成
NIHE能力強化	NIHE(2006)	2006-2010
NIHE, PIHCMC, TIHE*, PINT** 10省CDC		2011-2016
NIHE, PIHCMC, 10省CDC	PIHCMC(2022)	2017-2022

* TIHE: タイグエン衛生疫学研究所

** PINT: ニャチャン・パスツール研究所

基礎的保健サービスの支援

- 麻疹ワクチン製造施設(2005)、製造技術移転(2006-10)
- 麻疹風疹混合ワクチン製造技術移転(2013-2018)

- 母子手帳全国展開支援(2011-2014)・フォローアップ(2015-2019)
- 健康保険制度強化(2017-2020)

